



平成29年10月24日

# 佐賀県内経済情勢報告

平成29年10月

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所

<お問い合わせ先>

佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所 財務課

電話 (0952) 32-7161

ホームページアドレス

<http://fukuoka.mof.go.jp/html/saga/>

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している。」

項目	前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

(注) 29年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は持ち直しつつあるほか、生産活動は持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回 (29年7月判断)	今回 (29年10月判断)	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	29年度は前年度を上回る見通し	29年度は前年度を上回る見通し	→
企業収益	29年度は増益見通し	29年度は増益見通し	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	↘

【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに景気回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「持ち直しつつある」

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売は、衣料品は婦人服が低調であるものの、飲食料品は惣菜等が好調であることから、全体では前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、引き続き好調となっている。乗用車販売は、普通車は前年を下回っているものの、小型車、軽自動車は前年を上回っており、全体では前年を上回っている。家電販売は、エアコン等が好調である。

(主なヒアリング結果)

- 競合店の影響などにより、婦人服が低調に推移している。(百貨店、中小企業)
- 共働き世帯の増加に伴い、惣菜の売上が増加傾向にある。(スーパー、中小企業)
- 乗用車販売は、新型車販売等の影響で、軽自動車が好調に推移したことから、全体としても前年を上回っている。(自動車販売団体)
- 猛暑の影響により、エアコンの売れ行きが好調であったほか、一部製品では消費者の高級志向が強まっている。(家電販売店、大企業)

### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動を主要業種でみると、食料品では、受注が好調なことから高操業が続いており、輸送機械では、海外向けの輸出が好調であることから引き続き高操業となっているなど、概ねの業種で高操業が続いている。

- 受注が好調で、売上げは累計で前年を上回っているほか、生産もフル操業の状況であり、好調な状況が続いている。(食料品、中小企業)
- 7-9 月期は前年同期と同程度の生産台数となっており、海外向けの輸出が好調であることから、引き続き高操業の状態である。(輸送機械、中堅企業)
- 後発医薬品の利用が拡大していることや、薬価改定等の影響により、売上げが伸びていない製品が一部あるものの、操業は高操業の状態が続いており、売上げも増収を見込んでいる。(化学、大企業)

### ■ 雇用情勢 「改善している」

雇用情勢は、有効求人倍率は、引き続き高水準で推移している。新規求人数は、製造業等で増加していることから、全体では前年を上回っている。新規求職者数は、前年を下回っている。

- 受注の増加に伴い、従業員数は不足している。募集を行っているものの応募状況が悪く、仕事量も増加していることから、従業員の残業時間は増加傾向にある。(自動車・同附属品、大企業)
- ドライバーが不足しており、募集を行っているものの応募状況が悪い。(運輸・郵便、中小企業)
- 有効求人倍率は、引き続き上昇傾向にある。雇用環境は、正社員の有効求人倍率が高水準を維持していることなどから、良い状況が続いている。(労働局)

■ **設備投資** 「29年度は増加見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年7-9月期

29年度の設備投資額は、製造業は前年比25.9%の増加見通し、非製造業は同15.8%の減少見通しとなっており、全産業では同12.4%の増加見通しとなっている。規模別にみると、大企業、中小企業は増加見通し、中堅企業は減少見通しとなっている。

■ **企業収益** 「29年度は増益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年7-9月期

29年度の経常利益(「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く)は、製造業は前年比2.3%の増益見通し、非製造業は同3.9%の減益見通しとなっており、全産業では同0.4%の増益見通しとなっている。規模別にみると、大企業は増益見通し、中堅企業、中小企業は減益見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。

■ **公共事業** 「前年度を下回っている」

公共事業を公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、前年度を下回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(29年7~9月期)の景況判断BSIでみると、29年7~9月期は、「上昇」超に転じている。先行きについては、29年10~12月期は、引き続き「上昇」超となる見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を下回っている。
- 消費者物価(佐賀市)は、前年を上回っている。